

慢性疼痛診療システムの均てん化と
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究

研究分担者 池内 昌彦 高知大学医学部 教授

研究要旨

慢性疼痛診療ガイドライン改訂版の作成作業を行った。

A. 研究目的

本研究の目的は、慢性疼痛医療を担う運動器、神経系、精神心理の専門家に加えて疫学研究者を集結させて、慢性疼痛の診断や治療に関するエビデンスを示し、より本邦に適した痛み診療システムを構築することである。

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

B. 研究方法

最新の研究結果を取り入れた慢性疼痛診療におけるガイドラインの作成と有用性の検討を行う。

C. 研究結果

本年度は、ガイドライン作成作業として、システムティックレビュー、エビデンスレベルや推奨度の決定、推奨文の作成、全体会議での承認作業などを行った。

D. 考察

ほぼ当初の予定通り研究は進んでおり、令和3年3月には日本語版のPDF最終版が完成した。今後は英文化を進める予定である。

E. 結論

最新のエビデンスの収集を行い、日本語版ガイドラインの作成を行った。

F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし